

課目名:理容技術理論 課目コード:I173 I174

単 位 名:理容科 ヘアデザイン・ブライダルシェービングエステ

2単位(60単位時間)

開講時期: 2学年(前期・後期)

担当教員: 権野卓久 真吉一己 長瀬達雅 福本雅彦

●課目授業の目的と学生の達成目標:

養成施設では、理容師になるために必要な事柄をいろいろ学習しなければなりません。  
国家試験の課題であるカットング技術やシェービング技術をはじめ、多くの技術科目があります。それらを2年間で効率よく学ぶ

●成績評価の方法:

中間試験(チェック): 9 月ごろ 期末(終了)試験: 12 月ごろ  
期末試験により60点未満者は補講と追試・学科模擬試験

●教材・並びに教育方法:

日本理容美容教育センター発行 理美容理論1・2

●特に必要な教育手法、講師、協力企業等:

ウエラによるヘアカラー理論

●この課目の今後の展開:

●備考:

成績不良者のフォロー(時期と方法、達成の検証法):

各試験後1Hの補講授業を行い、その後再試験を繰り返す

2 学年(前期) 1 単位(30 単位時間)

回	時 限	授業内容・授業方法	実務経験 のある教 員
1	6	<p>人体各部の名称            施術の対象となる体や頭部、顔面などの部位をしっかりと覚えさせる。</p> <p>理容技術における技術姿勢            どんな技術でも実際には手指を使う 正確に、かつ安全性に施術するために、足の位置や体の向きなどを姿勢から理解させ、正しい姿勢を身につけさせる。</p> <p>理容技術とトレーニング            技術の習得にはトレーニングが必要なことを理解させる            トレーニングは技術的なものと身体的なものに分け、毎日反復練習することを習慣化させる</p>	
2	6	<p>理容用具            用具の機能を十分に発揮させ、使いこなすためにも、無理のない正しい姿勢で使用することを教える            用具を最良の状態で使用するために、理論とあわせてその条件を十分に教える</p> <p>理容刃物            刃の形態を学習させ、作用を理解させることで、技術に適した刃物を選ぶことができるようにさせる</p> <p>シザーズ            種類と特徴を学び、目的と用途に応じた使い方の結果を見せながら習得させる</p> <p>レザー            肌に刃物をあてるということの重要性を種類や特徴、形態と機能を学ばせること            によって理解させる</p> <p>クリッパー            下刃と上刃の機能をコームとシザーズに例えて十分に理解させる。運行速度、運行幅の結果を見ながら使用方法を習得させる</p> <p>コーム            種類と特徴を理解させ、用途別の使用方法を習得させる</p> <p>ブラシ            材料別分類を学ばせ、それぞれの長所・短所を理解させる</p> <p>ヘアアイロン            素材別分類・構造別分類・形状別分類を学習させて、目的に応じた用具の選択ができるようにさせる            ヘアアイロンの操作を、結果を見ながら習得させる</p> <p>ヘアドライヤー            ヘアドライヤーの熱を効率よく作用させる方法を、毛髪のしくみを理解させつつ習得させる            ヘアドライヤーとブラシの連動操作を、結果を見せながら習得させる</p>	

3	6	<p>カッティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアカッティングは造型技術であることを教える</li> <li>ヘアカッティングをスタンダードヘアとデザインヘアに分ける</li> </ul> <p>ヘアカッティングの基本原則</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアカッティング技術を習得するために必要な原理・原則を理解する</li> </ul> <p>ヘアカッティングの一般手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアカッティング後の処理もしっかり理解させる</li> </ul> <p>スタンダードヘアの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアスタイルをお客様に調和させることが大事なスタンダードヘアの場合は、素材の条件を十分に理解させる</li> </ul> <p>スタンダードヘアの用具の持ち方と操作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリッパー・コーム・シザーズの持ち方と操作訓練</li> </ul> <p>スタンダードヘアのスタイル別カットシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタンダードヘアは短髪から長髪までいろいろあるが、ここでは3つのヘアスタイルを理解させる</li> <li>最短髪型の丸刈では、クリッパーワークを学ばせる</li> <li>短髪型のブロスでは、コームとシザーズによる短髪のヘアカッティングのスタイリングを学ばせる</li> <li>中髪型のミディアムヘアでは、スタンダードヘアの中心になるため、細かいところまで十分に習得させる</li> </ul> <p>デザインヘア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインヘアのカット技法に使うシザーズとコームの持ち方・操作を練習させる</li> </ul> <p>デザインヘアのスタイル別カットシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインヘアをつくるためには、基本原則となる4種類の構成</li> </ul> <p>レディースカットの一例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レディースのデザインヘアの一例を学ばせる</li> <li>メンズのデザインカットとほぼ同じだが、仕上がるヘアスタイルはレディースのスタイルなので、構成する髪の長さに注意を払いカットする習慣を身につけさせる</li> </ul>	
4	6	<p>ヘアセッティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアセッティングには目的に応じたいろいろな方法があることを理解させる</li> </ul> <p>ヘアセッティングの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタイルによりセッティング方法が異なることを理解させる</li> <li>スタンダードヘアでは基本整髪からドライヤー・アイロンを使ったセットまで、デザインヘアでは整髪料を使ったいろいろな表現方法を覚えさせる</li> </ul> <p>レディースヘアのスタイリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レディースヘアのセットに必要な器具とその操作について学習させる</li> <li>レディースヘアのデザインを表現する感覚と技術を身につけさせる</li> </ul>	
5	6	<p>パーマメントセット</p> <p>パーマメントウェーピング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パーマメントウェーブの歴史を学ぶことは、未来の技法や用剤の研究につながることを理解させる</li> <li>パーマメントウェーブをかける際の条件や要素を満たすために、常に研究しなければならないことを理解させる</li> </ul>	

	<p>パーマネントウェーブ用剤の種類や特徴を、教科書の巻末にある品質規格をもとに理解させる</p> <p>パーマネントウェーブのかかるしくみとそれぞれのはたらきを十分に理解させる</p> <p>アイパー・アイロンパーマ・ストレートパーマの技術と特徴を理解</p> <p>コールド2浴式とアイロンによる技術の流れを比較し、還元、酸化の基本は同じであるが、仕上がりなどの違いがあることを理解させる</p> <p><b>ワインディング</b></p> <p>モデルウイッグを使用してワインディングの操作を訓練させる</p> <p>ストランドの引き出し角度の変化とボリュウムの出方を理解させる</p> <p>目的のデザインに合わせて正しくワインディングする</p> <p>上巻き、下巻きの操作を無駄なく確実に手早くできるように訓練する</p> <p>ワインディングの配列に基づいて毛髪のパターンや流れを理解させ、ボリュウムや流れを理解させ、それぞれのパターンを習得させる</p> <p><b>コールド2浴式パーマネントウェーブ</b></p> <p>コールド2浴式パーマネントウェーブのプロセスを理解させ、実際にモデルまたはモデルウイッグにかけさせる</p> <p>モデルウイッグと人間の場合のかかり方の違いを検討させる</p> <p><b>アイアニング</b></p> <p>アイアニング技術別に、使用するアイロンの種類と目的、特徴を理解させる</p> <p>アイアニングの技術を理解し、アイロンの持ち方と操作を覚える</p> <p>デザインや目的に応じたアイアニングの技法を習得</p> <p>アイパー・アイロンパーマ・縮毛矯正のプロセスを理解させ、実際にかけさせる</p> <p><b>形状記憶デジタルパーマ</b></p> <p>デジタルパーマの原理・操作・効果を理解させる</p>	
--	---	--

2 学年(後期) 1 単位(30 単位時間)

6	6	<p><b>シェービング</b>  シェービングは単にひげを剃るだけではなく、顔の容姿を整える技術でもあることを理解させる  シェービングは痛みを与えず、快感を与える感覚的技術なので、十分練習して熟練しなければならないことを教える</p> <p><b>シェービングの要件</b>  シェービングの対象は肌である。肌に刃をあてることから、肌についてだけでなく、施術にあたっての処置も学習させる</p> <p><b>シェービングの種類</b>  レーザーの正しい持ち方を教え、スムーズに操作できるようにする  シェービングブラシの持ち方と操作を習熟させる  レーザーリングの目的をよく理解させ、運行順序と姿勢を覚えさせる</p> <p><b>メンズフェイスシェービング</b>  メンズの場合は硬いひげを剃るため、シェービング前の準備として、レーザーリングやスチーミングについても理解させる</p> <p><b>メンズネックシェービング</b>  裾周りを短くするヘアスタイルの場合、ネックラインを剃って整えることが大切となることを伝える</p> <p><b>メンズのフェイスシェービング</b>  顔の形に合わせてひげをデザインする基準を理解させる  顔の造形を理解し、顔の特徴(凸凹のある立体的)を理解させる  アイブロー(眉毛)は、顔の中で形を大きく変えることのできる唯一の部分である。アイブローによって、顔の印象に変化をもたらすことができることを理解させる</p> <p><b>レディースシェービング</b>  肌の負担を軽減するため、運行回数はできるだけ少なくなるよう指導する)</p> <p><b>レディースのフェイスデザイン</b>  肌の特性(普通肌、感想肌、脂性肌、敏感肌)をよく観測し、その特性にあったスキンケアを行うよう指導する  肌の色や肌質をよく観察し、ファンデーションの色味や種類等を季節・気候・場面にあわせて選択させる  メイクアップと色彩学の重要性(幅広いジャンルにまで応用ができること)を理解させる</p>	
7	4	<p><b>理容エステティック</b>  <b>スキンケア</b>  肌に触れる技術の重要さと衛生管理(感染症など)をふまえて指導</p> <p><b>フェイシャルケア</b>  フェイシャルケアは理容の中でも歴史があり、エステティックにおいて中心となる技術であることを理解させ、十分に習得させる  (フェイシャルの技術では顔の神経が敏感な肌を扱うので、技術を十分に習熟させる)</p>	

		<p><b>ハンドケア</b> 女性だけでなく、男性にも今後必要となるグルーミングとして、ハンドケアを習得させる</p> <p><b>フットケア</b> ハンドケアと共に新しい分野で、これから需要が多くなるので、技術を十分に習熟させる</p> <p>足の役割やはたらきを理解させ、「老化は足から」というように、大切な足の健康を維持するためのケアを学ばせる</p> <p><b>理容アロマセラピー</b> アロマセラピーは芳香療法といわれる。医学的な分野ではあるが、理容のできる範囲でアロマの作用などを学ばせる</p>	
8	4	<p><b>理容クリニック</b> <b>ヘアクリニックのカウンセリング</b> 理容の仕事の性質から、お客様とのコミュニケーションは欠かせない。そのため、ヘアクリニックではカウンセリングが重要となることをよく理解して学ばせる</p> <p><b>トリートメント</b> 理容の仕事は頭皮や毛髪を傷つけやすい。そのため、技術に関連し、頭皮や毛髪を傷めないための処置としてトリートメントは重要である。理論と技術をしっかりと学ばせる</p> <p><b>スキンケアとスカルプケア</b> 理容クリニックの実践はヘアケアとスカルプケアとして行われる。そのため、ヘアケア、スカルプケアの理論を十分に理解させる</p> <p><b>毛髪の基礎知識</b> ヘアケアを行うための、毛髪の基礎的な知識を理解させる 毛髪の知識をもとに、実践でヘアチェックの経験をさせ、診断力を養う</p> <p><b>頭皮の基礎知識</b> 頭皮は皮膚と同じだが、他の皮膚とは少し違った特徴がる。その特徴を理解させる</p>	
9	4	<p><b>シャンプーイング&amp;リンシング</b> シャンプー技術を習得するために、目的をしっかりと理解させる シャンプーは「シャンプー」というヒンディー語が語源で、「マッサージをする」という治療的な意味をもっていることを理解させる 汚れの種類と汚れを落とす原理、界面活性剤のはたらきを学ばせる</p> <p><b>シャンプーイングの方法</b> シャンプーイングの3つの方法の設備、姿勢、特徴、用途、注意点、メリット・デメリットなどをよく理解させる</p> <p><b>シャンプーイングの技法</b> 理容のシャンプーの基本であるスタンドシャンプーのマッサージ順序を覚えさせる。技術者の位置、頭部の部位、指のあて方、力の入れ具合などをトレーニングし、快感を与えることができるように バックシャンプーの準備からマッサージ、ふきとりまでを習得させる リアシャンプーの一例をあげてある。準備からふきとりまで習得させる</p>	

		<p>トリートメントシャンプーの種類や目的を理解させ、注意事項や技術工程をしっかりと学ばせる</p> <p>リンシング</p> <p>リンスの目的や機能を理解させる。リンス剤として必要な機能についても学ばせる</p> <p>リンス剤の種類について学ばせる。形状や目的に応じた機能をもつリンス剤があることを理解させる</p>	
10	4	<p>理容マッサージ</p> <p>マッサージの意義と効果</p> <p>理容マッサージの目的をよく理解させる</p> <p>頭部・肩・背中などの経路、経穴の主なものを覚えさせる</p> <p>理容マッサージのマニピュレーション</p> <p>理容マッサージの手技を理解させ、正しく行えるように十分に習得させる</p> <p>それぞれの手技にどのような効果があるのかを理解させる</p> <p>目的に応じたマッサージのリズムの変化を理解させる</p> <p>理容の指圧の目的に応じた、刺激の強弱などを理解させる</p> <p>クリニックマッサージ</p> <p>クリニックマッサージの目的を理解させ、育毛及び育毛剤についてもさらに詳しく学ばせる</p> <p>クリニックマッサージの一例の順序と方法を習得させる</p> <p>原因、症状により手技の組み合わせが変わることがあることを理解させる</p>	
11	4	<p>ヘアトリートメント</p> <p>健康な毛髪の状態と損傷を起こす原因を学ばせる</p> <p>パーマントウェーブやヘアカラーなどにおけるプレトリートメントとアフタートリートメントの目的・効果を学ばせる</p> <p>損傷毛に対する予防、処置、損傷の拡大防止法を学ばせる</p> <p>硬毛、軟毛、縮毛などの悩みを解消するための毛質改善法を学ぶ</p> <p>頭を半分に分けて片側のみ損傷毛トリートメントを行い、施術後の左右の違いを体験させ、目的や効果を理解させる</p>	
12	4	<p>スカルプトリートメント</p> <p>スカルプトリートメントの必要性和目的をしっかりと指導する</p> <p>食事面・健康面・生活面・精神面などのあり方や、つぼの位置などを理解させる</p> <p>スカルプトリートメントの種類</p> <p>頭皮のトラブルの原因と、症状にあった各種スカルプトリートメントの予防および対策法を理解させる</p> <p>トリートメント剤の有効成分のはたらきなどを学ばせる</p> <p>ベーシックススカルプトリートメント</p> <p>症状により、シャンプーとトリートメント剤を変えることで対処できることを教える</p>	